

KU: P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL



薬剤部 部署の特徴



薬剤部の基本情報

| 主な業務指標 | |
|----------------|----------------------------------|
| 病棟薬剤業務実施加算1 | 届出済 |
| 病棟薬剤業務実施加算2 | 届出済 |
| 薬剤管理指導料算定件数 | 2,030件/月（2021年度） |
| 抗がん剤無菌調製件数 | 外来 1,237件/月、 入院669件/月（2021年度） |
| 高カロリー輸液無菌調製件数 | 770件/月（2021年度） |
| 薬物血中濃度モニタリング件数 | 2,096件/月（2021年度） |
| 実務実習生受け入れ人数 | 66名（2021年度） |

専門・認定薬剤師の研修施設認定

- ・ 日本医療薬学会 認定薬剤師制度研修施設
- ・ 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
- ・ 日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- ・ 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設
- ・ 日本臨床薬理学会 認定薬剤師制度研修施設

スタッフ

職員

| | |
|------------------------|-----|
| 教授・薬剤部長 | 1名 |
| 准教授・副部長 (薬学部所属1名含む) | 2名 |
| 副部長 | 3名 |
| 講師・助教 | 3名 |
| 主任 | 10名 |
| 薬剤師 (うちレジデント13名) | 58名 |
| 技術補佐・事務補佐 | 13名 |

(2022年10月時点)

認定・専門薬剤師

日本医療薬学会

- ・指導薬剤師 (10名)
- ・専門薬剤師 (23名)
- ・がん指導薬剤師 (1名)
- ・がん専門薬剤師 (2名)
- ・薬物療法指導薬剤師 (1名)

日本病院薬剤師会

- ・病院薬学認定薬剤師 (22名)
- ・がん薬物療法認定薬剤師 (2名)
- ・感染制御専門薬剤師 (1名)
- ・精神科薬物療法認定薬剤師 (2名)
- ・HIV感染症専門薬剤師 (1名)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師 (1名)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 (1名)

日本臨床腫瘍薬学会

- ・外来がん治療専門薬剤師 (1名)
- ・外来がん治療認定薬剤師 (1名)

日本臨床薬理学会

- ・指導薬剤師 (2名)
- ・認定薬剤師 (4名)
- ・認定CRC (1名)

日本薬剤師研修センター

- ・実務実習指導薬剤師 (17名)

日本化学療法学会

- ・抗菌化学療法認定薬剤師 (1名)

日本精神薬学会

- ・精神薬学会認定薬剤師 (1名)

日本糖尿病療養指導士認定機構

- ・糖尿病療養指導士 (6名)

日本アンチ・ドーピング機構

- ・スポーツファーマシスト (2名)

日本病態栄養学会

- ・NST研修修了 (3名)

(2022年10月時点)

レジデント制度（薬剤師卒後教育）

2006年から薬学教育6年制が開始され薬剤師養成教育の改革が成された。タスクシフトなど薬剤師業務の多角化により、薬剤師のレベルアップが望まれている。京大病院では効果的な新人教育を実施するために、2019年度からレジデント制度を導入した。一般研修と専門研修を有機的に組み合わせ、ポートフォリオを用いた評価体制や、学術活動の支援など、幅広い分野の知識・スキルを習得することが可能である。

- ▶ 新人採用は全てレジデント
- ▶ 特定有期薬剤師として雇用し給与を支給
- ▶ 病棟薬剤業務を含む全般的な基本的スキルを習得
- ▶ 希望者には研究テーマを与え学会発表を目指す

(一例)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------|----------|------|-----|------|------|------|-------|
| レジデントプログラム 一般研修 | 午前 | 初期研修 | 内服薬・注射薬調剤 | ケモ調製 | 病棟業務(内科) | 病棟業務(外科) | | | | | | |
| | 午後 | | | | | | | | | | | |
| | プラスα | | 持参薬チェック | 内服薬・注射薬調剤/TDM | ケモ調剤/DI | | | | | | | |
| | 研修課題 | マニュアル精読 | | | | | | | 症例発表 | | 症例発表 | 成果報告会 |
| レジデントプログラム 専門研修 | 午前 | 内服薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | ケモ調製 | | | | | | | | |
| | 午後 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | 注射薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | | | | | | | | |
| | プラスα | NST | ICT | 緩和 | | | | | | | | |
| | 研修課題 | 研究テーマ決定 | 論文紹介 | 症例発表 | 学会発表要旨 | 論文紹介 | 症例発表 | | | 学会発表 | | 成果報告会 |
| レジデントプログラム 一般研修 | 午前 | 内服薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | ケモ調製 | | | | | | | | |
| | 午後 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | 注射薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | | | | | | | | |
| | プラスα | NST | ICT | 緩和 | | | | | | | | |
| | 研修課題 | 研究テーマ決定 | 論文紹介 | 症例発表 | 学会発表要旨 | 論文紹介 | 症例発表 | | | 学会発表 | | 成果報告会 |
| レジデントプログラム 専門研修 | 午前 | 内服薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | ケモ調製 | | | | | | | | |
| | 午後 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | 注射薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | | | | | | | | |
| | プラスα | NST | ICT | 緩和 | | | | | | | | |
| | 研修課題 | 研究テーマ決定 | 論文紹介 | 症例発表 | 学会発表要旨 | 論文紹介 | 症例発表 | | | 学会発表 | | 成果報告会 |
| レジデントプログラム 一般研修 | 午前 | 内服薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | ケモ調製 | | | | | | | | |
| | 午後 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | 注射薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | | | | | | | | |
| | プラスα | NST | ICT | 緩和 | | | | | | | | |
| | 研修課題 | 研究テーマ決定 | 論文紹介 | 症例発表 | 学会発表要旨 | 論文紹介 | 症例発表 | | | 学会発表 | | 成果報告会 |
| レジデントプログラム 専門研修 | 午前 | 内服薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | ケモ調製 | | | | | | | | |
| | 午後 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | 注射薬調剤 | 内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ | | | | | | | | |
| | プラスα | NST | ICT | 緩和 | | | | | | | | |
| | 研修課題 | 研究テーマ決定 | 論文紹介 | 症例発表 | 学会発表要旨 | 論文紹介 | 症例発表 | | | 学会発表 | | 成果報告会 |

*職員への採用試験

レジデントプログラム

一般研修

目標
薬剤師の基本スキル習得

- ・倫理研修
- ・内服薬・注射薬・麻薬の調剤
- ・抗がん剤等の調整・監査
- ・TDM・医薬品情報
- ・一般病棟業務

専門研修

目標
病棟業務の初期の専門スキル習得

- ・内科、外科、がん病棟専門業務
- ・緩和、感染、急性期専門研修
- ・治験業務など

薬剤師採用
(京大・他病院)

大学院進学
目標：学位取得

キャリアパス支援

臨床経験を多く積ませることによって、自立して判断のできる薬剤師へと成長させ、その後に学位や専門薬剤師の取得を支援する。さらに、女性薬剤師の活躍を促進するため、薬剤師の働き方改革にも力を入れている。最終的には、マネジメント教育も取り入れて、全国へ教授・薬剤部長などの輩出を目指している。

京大病院以外でのキャリア

- ・大学院
- ・薬局
- ・製薬企業
- ・留学
- ・中小病院
- ・行政
- ・CRO
- ・大学

学位取得

Manager Pharmacist

薬剤部長・副部长、教員

Advanced Pharmacist (5~15年間)

目標：専門薬剤師・ミドルマネージャー

- ▶ 専門的知識・技能の習得
- ▶ 新しい業務計画の立案と実行
- ▶ 学会発表・論文執筆 (英語)
- ▶ 若手薬剤師のマネジメント
- ▶ 学会発表・論文執筆の指導

General Pharmacist (6~10年間) 目標：自立できる薬剤師

- ▶ 一般的な薬剤部門業務の習得
- ▶ 学会発表・論文執筆
- ▶ 判断能力・予測能力の育成
- ▶ 新人・学生教育の実施

Basic Pharmacist (2年間) 目標：基本的なスキルを習得した薬剤師

- ▶ 初期の薬剤部門業務の習得
- ▶ セミナーでの基礎知識の習得
- ▶ 内科・外科病棟の基本業務の習得
- ▶ 専門業務の初期研修、学会発表等 (2年目)

京大病院薬剤部出身の教授・薬剤部長 (現職)

大学病院

- ・京都大学医学部附属病院
- ・大阪大学医学部附属病院
- ・神戸大学医学部附属病院
- ・滋賀医科大学医学部附属病院
- ・熊本大学医学部附属病院
- ・山形大学医学部附属病院
- ・和歌山県立医大病院
- ・札幌医科大学病院

その他病院

- ・北野病院
- ・大阪赤十字病院
- ・済生会野江病院
- ・済生会中津病院
- ・倉敷中央病院
- など

大学関係

- ・広島大学
- ・富山大学
- ・立命館大学
- ・大阪医科薬科大学
- ・神戸薬科大学
- ・神戸学院大学
- ・愛知学院大学
- ・武庫川女子大学
- ・姫路獨協大学
- など

研究活動

京大病院薬剤部では、研究活動にも積極的に取り組んでいます。業務内容や薬物療法の客観的評価を行い、医療薬学会などで多数の学会発表を行なっています。新規性の高い成果については、英文誌に投稿し、最終的に論文博士号取得を目指している人もいます。

主な原著論文(2021-2022)

Sukeishi A: Population pharmacokinetic modeling of GS-441524, the active metabolite of remdesivir, in Japanese COVID-19 patients with renal dysfunction. *CPT Pharmacometrics Syst Pharmacol* 11, 94-103, (2022).

Kawata M.: A nationwide questionnaire survey on awake craniotomy in Japan. *Neurol Med Chir (Tokyo)*, 62, 278-285, (2022).

Matsuda Y: Effect of itraconazole and its metabolite hydroxyitraconazole on the blood concentrations of cyclosporine and tacrolimus in lung transplant recipients. *Biol Pharm Bull* 45, 397-402, (2022).

石村裕樹: レテルモビルの中止によりポリコナゾールの血中濃度が著明に上昇した造血幹細胞移植後の1症例. *日本病院薬剤師会雑誌* 58(1), 35-40, (2022).

梅山 遥: 抗真菌剤併用下で多剤併用がん化学療法による有害反応を回避できた肺移植後リンパ増殖性疾患の1例. *日本病院薬剤師会雑誌* 58(3), 325-329, (2022).

Katada Y: Association between time in therapeutic range of tacrolimus blood concentration and acute rejection within the first three months after lung transplantation. *J Pharm Health Care Sci* 8, 25, (2022).

主な学会発表(2021-2022)

杉本充弘: 抗真菌薬ポサコナゾールの血中濃度および薬物間相互作用に関する検討. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).

梅村圭祐: 肺移植患者におけるイトラコナゾール錠剤の吸収に対するレモン飲料の効果. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).

平井真智子: アルガトロバンの持続投与による有効性・安全性に関する後方視的観察研究. *STROKE2022*, 2022年3月17-20日(京都/Web).

有福萌波: 神経障害性疼痛に対する院内製剤10%リドカインゲルの使用実態調査. *医療薬学フォーラム2022/第30回クリニカルファーマシーシンポジウム*, 2022年7月23-24日(Web).

朝倉佳代子: シンポジウム23 COVID-19流行前後における呼吸器疾患管理の変化～ポストコロナ期に向けた吸入療法の最適化を目指して～急性期病院の薬剤師視点からみたポイント. 第32回日本医療薬学会年会, 2022年9月23-25日(高崎/Web).